

●6年制学科のカリキュラムの特色

キリスト教主義、国際主義、リベラル・アーツの本学の教育理念のもとに、少人数制教育による症例検討などを通じて、患者の薬物療法上の課題発見・解決能力の育成に力を入れている。

また、臨床コミュニケーション能力の育成に向けて、接遇教育(1年次から開始)や模擬患者(SP)を導入した医療面接教育も重点的に取り組んでいる。一方、3年次秋学期以降は全員を各研究室に配属させ、従来の大学院修士課程レベルの薬学研究に取り組ませることで、臨床と基礎両面の研究能力を持つ人材を輩出する。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

実習先の希望調査を実施し、可能な限り学生の希望に沿うように配当している。

●病院実習先・薬局実習先

国立病院機構京都医療センター、京都岡本記念病院、京都大学医学部附属病院、国立病院機構大阪医療センター、石鎚会京都田辺中央病院 121カ所(2022年度)

さくら薬局、クオール薬局、スギ薬局、そうごう薬局、阪神調剤薬局、ファルコ薬局、田辺まごころ薬局、きはら薬局、たなべゆう薬局 122カ所(2022年度)

●アドバンスト(臨床)実習

3年次後期から研究室に配属し、基礎薬学研究、薬学研究Ⅰ、薬学研究Ⅱ、薬学研究Ⅲを履修し研究の基礎を学ぶとともに所属研究室の研究を遂行する。薬学研究Ⅲでは研究を完成させ、卒業論文をまとめ研究発表をする。

また、6年次には特論科目を設け、より最新の薬剤師スキルを学ぶ。

●多職種連携教育の具体的な内容

現在、同志社女子大学と包括協定を結んでいる医療施設には、京都医療センター、南京都病院、奈良県立医大および京都田辺中央病院などがあり、多職種連携教育を計画中である。

また、5年次は、近畿地区病院薬局実務実習調整機構が配分する薬局や病院薬剤部における臨地実習を通じて病院施設内や地域医療における医・薬・看護連携や薬・薬連携を学ぶ。

●多職種連携教育を行う医療施設名

上記のとおり計画中

●薬剤師国家試験への取り組み

6年次の4月に学力試験を実施、卒業論文発表会後の7月中旬から基礎科目(物化生)を中心とした補習講座を開始し、夏期休暇期間に国家試験問題に慣れさせる。秋学期からは「薬学特別演習」(必修科目)を全教員が担当し、国家試験に向けて薬学専門知識の統合的理解を深めている。

また、5年次以下の学年にも学力試験や

模擬試験を実施し、4年次には8～12月にCBT補習講座を行っている。さらに、総合薬学教育研究室を核として、「薬剤師国家試験対策講座」を定期的に開講している。

●卒業研究について

3年次生に希望調査を行い、全員を研究室に配属する。3年次は『薬学基礎研究』、4年次は『薬学研究Ⅰ』、5年次は『薬学研究Ⅱ』、6年次は『薬学研究Ⅲ』を履修し、卒業研究を行う。6年次の6月頃に発表会を行った後に、卒業論文を提出する。

●入試の変更点

2024年度入試より、AO入試と推薦入試S(公募制)の募集人員と募集学科を拡充します。

●入試に合格するためのアドバイス

受験科目「理科(化学・化学基礎)」の配点が特に高い為、化学を基礎からしっかり学んでください。

出題領域は「化学基礎」は全範囲、「化学」は学習指導要領に示された内容のうち「(5)高分子化合物の性質と利用」を除いた範囲です。

●過去問を公開しておられますか

https://www.dwc.doshisha.ac.jp/admissions/exam_information/examquestions

●面接や小論文について教えてください

総合型選抜の一部の入試方式と学校推薦型選抜において面接を課す。

なお、総合型、一般、学校推薦の選抜方法において小論文は課さない。

●大学独自の奨学金制度

奨学金につきましては本学 Web サイト 下記 URL をご参照ください。

<https://www.dwc.doshisha.ac.jp/current/scholarship/public>

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

本学の学寮については、下記参照

<https://www.dwc.doshisha.ac.jp/current/dormitory>

●オープンキャンパスの日程

2023. 7/23・8/5・8/6・9/18・12/17 2024.3/24

大学紹介 / 入試説明会 / 学科紹介 / 学科別プログラム(ミニ講義など) / 学部学科ブース / 個別相談コーナー(学生生活相談・入試相談) / 在学生によるキャンパスツアー / 音楽学科学生によるミニコンサート